

図書案内

鉄鋼の工業けい光X線分析方法

A 5 版 198 頁

価 格 2000 円 〒 140

申込方法 書名, 部数 送付先をご明記のうえ代金を添えて現金書留にてお申込み下さい。

申 込 先 100 千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階

日 本 鉄 鋼 協 会 庶 務 課

本書は、数多くの実例を用いて平易に解説し、新しくけい光X線分析をはじめられる方にも、深い専門知識がなくても容易に理解し実作業に適用いただけるように配慮してあります。

内容は下記のとおりにながておりますのう是非ご利用いただきますようご案内申し上げます。

目 次			
1. 概 要	1.4.5 本補正定量法の特徴	3. 3 補正計算の実作業への適用法	
1. 1 鉄鋼におけるけい光X線分析 方法の特徴	2. 一般的事項	3.3.1 本補正法の特性および適 用時の対策	
1. 2 けい光X線分析方法の誤差 の要因	2. 1 装 置	3.3.2 手計算による方法	
1.2.1 スペクトル線の重なり効 果 (重畳効果)	2.1.1 工業X線分析装置	4. 補正係数の決定方法	
1.2.2 けい光X線に対する吸収 励起効果	2.1.2 X線管球	4. 1 補正係数の区分	
1.2.3 バックグラウンドの変化	2.1.3 光学系	4. 2 重なり補正係数の求め方	
1.2.4 試料履歴と元素分布の不 均一による誤差	2.1.4 測定回路	4.2.1 係数算定の手順	
1. 3 誤差の種類と補正方法	2. 2 試料および調製方法	4.2.2 バックグラウンドの影響	
1.3.1 補正が困難な誤差とその 対策	2.2.1 標準試料	4. 3 総合吸収補正係数の求め方	
1.3.2 補正の可能な誤差を補正 方法	2.2.2 分析試料の採取および調 製方法	4.3.1 重回帰法	
1. 4 補正定量法のあらまし	3. 補正計算による定量方法	4.3.2 個別三元法	
1.4.1 二元系試料による検量線 の作成	3. 1 要 旨	4.3.3 理論計算法	
1.4.2 三元系試料の定量	3.1.1 補正計算の区分	4.3.4 基礎定数法	
1.4.3 三元系試料の定量値の補 正	3.1.2 補正定量法のしくみ	5. 本法適用上の注意事項	
1.4.4 多元系試料の定量値の補 正	3. 2 補正式と計算手順	6. 本書で必要な数学の基礎	
	3.2.1 補正式	6. 1 平均値と標準偏差	
	3.2.2 基本法における計算手順	6. 2 回帰直線 (回帰曲線)	
	3.2.3 微小変動補正法の補正式 と計算手順	6.2.1 一次回帰法	
	3.2.4 統一二元系検量線法の補 正式	6.2.2 二次回帰法	
	3.2.5 ニッケル基所は熱合金へ の応用	6. 3 重回帰	
	3.2.6 補正計算例	付録 機器分析標準試料一覧	
	3.2.7 補正定量法の計算誤差		